

## 平成27年度第3回宇都宮市民大学運営協議会議事録

- 1 開催日時 平成27年11月20日(金) 午前10時00分～午前11時00分
- 2 開催場所 中央生涯学習センター201学習室(中央生涯学習センター2階)
- 3 出席者 委員 8名(別紙参照)  
事務局 9名(生涯学習課)  
大久保課長, 川俣課長補佐, 高田係長, 櫻井総括主査,  
藤田社会教育主事, 若林社会教育主事, 鈴木主任主事,  
田邊主事, 大畑主事
- 4 公開・非公開の別 公開
- 5 傍聴人 0人
- 6 会議次第
  - (1) 開 会
  - (2) 挨拶
  - (3) 議 題
    - ① 平成27年度宇都宮市民大学後期講座の実施状況について
    - ② 平成28年度宇都宮市民大学講座企画・運営ボランティアスタッフ企画講座の決定について
  - (4) その他
  - (5) 閉 会
- 7 会議資料 別添資料参考
- 8 議事の経過
  - (1) 開 会  
事務局) … それでは、ただいまより、平成27年度第3回宇都宮市民大学運営協議会を開会いたします。  
まず、定足数についてご報告申し上げます。本日の出席委員は、8名となっており、出席委員は半数を超えておりますので、宇都宮市民大学運営協議会運営要領第6条第2項の規定を満たしており、本日の会議は成立しておりますことを、ご報告いたします。
  - (2) 挨拶  
岡田会長 ⇒ 本日は、お忙しい中、平成27年度第3回宇都宮市民大学運営協議会に御出席いただき、誠にありがとうございます。  
また、10月27日の「後期合同開講式・公開講座」に御出席いただいた委員の皆様におかれましては、大変、お疲れ様でした。  
現在、市民大学では後期講座が実施されておりますが、前期同様に

盛況であると同っております。

そして、平成28年度市民大学Vスタッフ企画講座につきましては、11月10日に「平成28年度宇都宮市民大学講座企画運営選考委員会」が開催され、19本の応募企画講座から9本の講座が選考されております。

本日は、その選考結果について、御審議いただきたく存じます。後ほど、事務局や饗庭委員長より説明がありますので、委員の皆様から、忌憚のない御意見をいただきたく、お願い申し上げます。

以上で、簡単ではございますが、会長挨拶とさせていただきます。

### (3) 議 題

事務局) … 議題に入りたいと存じますが、宇都宮市民大学運営協議会運営要領第5条第2項の規定により、会長が議事を進行することとなっておりますので、岡田会長、よろしく願いいたします。

岡田会長 ⇒ それでは、議事を進めて参りたいと存じますが、スムーズな議事進行ができますよう、委員の皆様のお協力をお願いいたします。

まず、議題①の「平成27年度宇都宮市民大学後期講座の実施状況について」、事務局から説明をお願いいたします。

#### ① 平成27年度宇都宮市民大学後期講座の実施状況について

(発言の主旨)

石塚委員 ⇒ 感想としては、歴史ものは人気が高く、受講者の年代も高いと感じました。他の講座の受講者数は定員と同じくらいで、歴史ものに比べると若干少ない感じがしますが、見込みどおりではないでしょうか。

岡田会長 ⇒ 定員をオーバーしている講座は、抽選により受講者を決定したとのことですが、毎回この分野は人気があり、今後もこのような形が続くのではないのでしょうか。もう少し若い人に受講して欲しいと思います。

長谷川委員 ⇒ 知り合いが、「仏教や歴史の講座に応募しても毎回抽選にもれてしまう。」と言っていました。非常に気の毒に思います。もれた人については、次回の抽選の際に、優先的に受講出来るような工夫を検討していただければと思います。

事務局)・・・平成28年度の実施講座については、講座開催までにキャンセルが生じた場合、申し込み順に別の方を繰り上げるといった対応をさせていただく予定です。他の対応については、今後、検討していきたいと思えます。

岡田会長 ⇒ 類似した企画についても、応募に偏りが出てしまい、バランスよく受講者を振り分けできないのが現状であるかと思えます。事務局で偏りが出ないように何か策を練っていただければと思えます。

(議題①については、全委員の承認を得て議決)

岡田会長 ⇒ 次に、議題②の「平成28年度宇都宮市民大学講座企画・運営ボランティアスタッフ企画講座の決定について」、事務局から説明をお願いします。

## ② 平成28年度宇都宮市民大学講座企画・運営ボランティアスタッフ企画講座の決定について

岡田会長 ⇒ 本日は、宇都宮市民大学講座企画運営選考委員会の委員長である饗庭委員が御出席されておりますので、何か補足説明がございましたらお願いします。

饗庭委員 ⇒ それでは、11月9日に実施した講座企画運営選考委員会について、補足説明をさせていただきます。

プレゼンテーションはコース別に行い、各コース終了後に各委員へ意見を求めるという形で実施しました。なお、Ⅲの暮らしを彩る教養コースに関しては、企画数が多かったことから、途中で一度意見交換を行い、最終的な点数が出た段階で再度協議を行いました。

選考方法としては、まず全体順位、コース順位を元に選考し、最終的には、全体のバランスを考慮しました。Ⅲコースの「古典に親しむ～こんな時代だからこそ『方丈記』を読みほどこきませんか～」については、9位との点数差もそれほどなかったため、11位ですが各企画者(グループ)の選考数を考慮して選考しました。

結果的に、Ⅰの郷土を愛する地域・文化・歴史コースから1講座、Ⅱの今を読み解く現代社会コースから2講座、Ⅲの暮らしを彩る教養コースから6講座で合計9講座となりましたが、各コースのバランス

も考え、「『おくの細道』とその旅」については、プレゼンテーションの段階で企画者の了承を得て、ⅢからⅠコースへ変更しております。

また、前・後期のバランスについては、「下野の夜明け～世直し一揆から栃木県へ～」を第1希望の前期から第2希望の後期に移動することで、前期5講座、後期4講座と調整いたしました。

最終的には、歴史・古典ものが多くなってしまいましたが、もともと企画として自然科学のものが少なかったことや、歴史・古典ものは市民ニーズが高く、講座終了後の発展性等を踏まえ、このような結果となっております。

岡田会長 ⇒ この件につきまして、総合的な評価により、選考を行ったとのことですが、ご意見、ご質問等がございましたら、ご発言をお願いします。

島野委員 ⇒ 事務局企画講座については、内容は決まっているのでしょうか。

事務局) … 現在開催している、Vスタッフ養成講座の受講生が、来年度、事務局と一緒に企画することになっております。現段階では、まだ内容は決まっておりません。

岡田会長 ⇒ 事務局企画講座が一つあるということですが、他に大学連携講座が2講座ありますので、最終的には12講座になります。  
来年度の大学連携講座の担当は、どちらの大学でしょうか。

事務局) … 前期が宇都宮短期大学、後期は宇都宮大学を予定しております。

小針委員 ⇒ 歴史・古典ものが多いですが、東京オリンピックを控え、外国の方との触れ合いの機会も増えるかと思いますので、日本人としてルーツを学ぶというのは時宜を得ているかと思います。また、講座を継続してやるというのは、学びの積み重ねにもなり、工夫があつて良いと思えます。

岡田会長 ⇒ 選考方法については、これで良いのではないかという意見でした。

川本委員 ⇒ 暮らしを彩る教養コースは、芸術・科学のほか先進技術など広範な学術的テーマを対象に、豊かな人間性を培い、生活に潤いを与える教養講座となっておりますが、こういった企画が少ないのが残念です。

もし可能ならば、宇都宮大学の連携講座において、科学や先端技術などのテーマを取り上げていただけるとありがたいと思います。

岡田会長 ⇒ 毎年の傾向として、応募のコースや数のバランスはこのようなものなのでしょうか。

事務局) … 例年、教養コースが多い傾向にあります。

岡田会長 ⇒ 今回は、前期から後期実施に調整した講座があります。今後も、全体のバランスを取りながら、ぜひこの講座は実施したいという意向があれば、そのような配慮もしていければ良いのではないのでしょうか。

また、落選してしまった企画については、来年度も応募してもらえるようにしているのでしょうか。

事務局) … 企画者には、選考結果の通知とともに委員のコメントをお送りしますので、それを踏まえ、来年度に向け見直しを図ることもあるかと思えます。

島野委員 ⇒ 企画者は、他の団体（グループ）の企画も事前に分かっているのでしょうか。

事務局) … 企画者には、事前に講座名や企画名等が記載されたタイムテーブルを送付しています。

島野委員 ⇒ 類似した企画を一本化できないのでしょうか。

岡田会長 ⇒ 大学独自の講座では可能かと思いますが、個別の企画となるとなかなか難しいのではないのでしょうか。

選考委員会では企画の選考をコース順に実施しているのでしょうか。

事務局) … 企画の選考は、Ⅱコース、Ⅰコース、Ⅲコースの順で実施しました。

岡田会長 ⇒ 選考委員会は、1日で行うということですが、企画数の多いコースを先に持ってきた方が、選考委員の疲れが少ないのではないのでしょうか。選考委員も大変だと思います。

小針委員 ⇒ 理系の講座が少ないのが気になります。選考の基準には、市民ニーズ・社会ニーズがありますが、言い換えれば、市民ニーズは、市民が求める学びですが、社会ニーズは知っておいて欲しい学びだと思います。そのようなことを考えると、Ⅱの今を読み解く現代社会コースの2・3・4・5の企画は惜しい感じがします。全体として、市民ニーズの点数が高くなっているのでしょうか。

事務局) … 企画者は、受講者アンケートをもとに企画することが多く、市民ニーズの高さをプレゼンテーションでもアピールされますので、今回の結果につながったと思います。

石塚委員 ⇒ 歴史もののニーズが高いという点は、受講者の年代から考えますと、仕方がないと思いますが、10年後の参加者を考えますと、今の50代と今の60代に対して同じ感覚では駄目だと思います。今の50代の方は育ち方も若干違いますし、市民大学の先のことを考えますと、今の50代が興味を持つような企画も考えていった方が良くと思います。

事務局) … 50代のニーズにつきましても、分析していきたいと思います。また、分析結果などをVスタッフの研修会などで伝えるようにしたいと思います。

饗庭委員 ⇒ 社会ニーズといたしますと、Ⅱの今を読み解く現代社会コースでは、全体的に点数が低いのですが、企画の練り方や構成の部分がしっかりしてくると、もう少し点数が良くなってくると思います。そこを事務局の方で指導していくと良いかと思います。

岡田会長 ⇒ 生涯学習課として、対象が50代・40代後半になっていくことを見越して、「今年一年こうしていきたい。」というテーマや内容等を企画者や大学側に伝え、そのテーマに見合った提案をしていけば、将来的な意図もわかるようになるのではないかと感じます。例えば、那須キャンパスでは、市民大学を行う際、先にテーマを決めて企画しています。テーマがあることによって、運営者側の考えも出てくるのではないのでしょうか。

事務局) … 大変重要な視点かと思えます。まさに今、Vスタッフの養成をやっているのですが、そういった視点をVスタッフにどのようにして持ってもらえるか、また、そういった視点の講座を積極的に提案していただくための工夫を、事務局として研究・検討していきたいと思えます。

岡田会長 ⇒ どうしても人気ものに偏ってしまうというのは、その方向性を見失ってしまう可能性もあり、発展につながらない要因にもなると思えます。

(議題②については、全委員の承認を得て議決)

#### (4) その他

事務局) … 今後のスケジュールについてですが、本日御審議いただいた選考結果について、来週中には企画者に通知を行い、前期講座の詳細については、2月中旬頃までに企画者と事務局で詰めてまいります。その後、4月の広報誌で受講者の募集を予定しております。

また、次回の会議につきましては、来年度の4月に開催を予定しております。3月に入りましたら日程調整等させていただきますので、御協力のほど、よろしくお願いいたします。

小針委員 ⇒ これから講座の詳細を詰めるとのことですが、定員オーバーの見込まれる講座について、会場の大きさ等で解決できる部分もあるのではないのでしょうか。

事務局) … 受講者の混乱を避けるために、同じ場所で安定的に講座が開催できる人材かがやきセンターの研修室を使用しております。また、市の公的施設では、多くの人数を収容できる場所は限られており、稼働率が高い状況もあります。

基本としては、本研修室で行いたいと考えております。

岡田会長 … 場所の問題だけでなく、講師の希望する人数も加味していく必要もあるかと思えます。

(次回の開催予定を連絡して閉会)